

事務局だより

受賞の紹介

平成 17 年度全建賞

H18.6.5 受賞

全国からの応募総数 212 件から、60 事業が選定され、福建推薦の新北九州空港連絡橋が受賞しました。

道路部門「新北九州空港連絡道路建設事業」
空港へのゲートとなるシンボリックな形式で、かつ沿岸海域と調和し、陸から海へのつながりをイメージした国内初の鋼モノコード式バランスドアーチ橋。



新北九州空港連絡道路建設事業

受賞機関 福岡県

はじめに

新北九州空港は、瀬戸内海西方の周防灘に位置する海上空港である。これまで北九州市小倉南区の市街地に接していた空港に代わり、新しい「新北九州空港」として平成18年3月16日に開港した。

平成18年3月5日に開通した新北九州空港連絡道路（一般県道新北九州空港線）は、この空港と東九州自動車道苅田北九州空港ICとを結ぶ延長約8kmの道路である。地域高規格道路の指定も受けているこの道路のうち、通行無料の橋では日本最長（2,100m）となる「新北九州空港連絡橋」が、この空港への唯一のアクセスゲートとなって、周辺環境と調和した優美な姿で九州本土と海上空港を結んでいる。

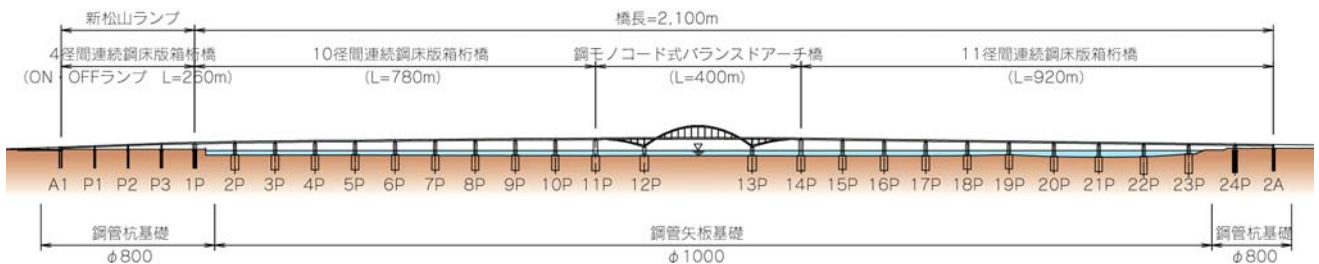


事業の概要

- 箇所：北九州市小倉南区空港北町～福岡県京都郡苅田町
- 路線延長：7,740m
(海上部) 2,956m うち新北九州空港連絡橋2,100m

m

(陸上部) 4,784m



新北九州空港連絡橋 一般図

- 車線数：4車線
- 工事期間：平成8年度～平成17年度
- 事業費：687億円

新北九州空港連絡橋の諸元

- 形式：(主径間部) 鋼モノコード式バランスドアーチ橋、(側径間部) 10径間および11径間連続鋼床版箱桁橋
- 橋長：2,100m
(主径間部400m、側径間部780mおよび920m)
- 幅員：22.0m (4車線+片側自歩道)
- 下部工：RC Y型橋脚および壁式橋脚、
仮締切兼用鋼管矢板基礎および鋼管杭基礎
- 施工の特徴：大型起重機船による一括架設と
独自の地盤支持力検証による杭長の決定



事業の効果

開港3ヶ月を経過し、21時間運用がされている新空港には東京便17往復をはじめ、海外便も就航し、利用者は旧空港の約5倍に伸びている。今年8月には深夜貨物便の就航と24時間運用も予定されている。

この道路は、東九州自動車道の延伸などの高速交通網の形成により、陸・海・空の連携を担い、この地域の自動車をはじめとする地域産業の振興や活性化にも大きな役割が期待されている。